資料番号　５番

写

８宗元第４５２号
令和８年１１月　４日

宗像市渡船事業運営審議会
　会長　金平　成市　様

宗像市長　伊豆　美沙子

宗像市渡船事業運営審議会に対する諮問について

本市渡船事業について、利用者の利便性向上及び航路の安全かつ安定的確保を図りつつ、持続可能な航路運営を目指すため、下記事項について諮問します。

記

１．諮問事項

（１）渡船の航路に関すること

・船舶体制の一部変更に伴う運航時間、ダイヤ

（２）渡船の使用料に関すること

・船舶体制の一部変更に伴う渡船運賃（貸切）

・航路統合による利用促進や効率的な運用を想定した渡船運賃

２．諮問理由

前回の諮問事項（平成 30 年 11 月 20 日 30 宗交第 286 号）に関して、貴審議会より令和 3 年 3 月 24 日付けで答申を頂戴しました。

このうち、「航路改善の基本的な考え方」で掲げられた「大島・地島の両航路の再編、２隻体制への移行」については、全国的な船員不足の深刻化の進展やそれに伴う民間代船事業者の動向等に関して航路改善計画策定時と大きく事情が異なってきたこと、また、同計画策定時には全く想定しなかった公益性の高い課題への対応、具体的には複数の航路事業者が共同で利用する予備船舶（共通予備船）の導入検討といった諸情勢の変化を受け、同計画の円滑な実現を図るために、昨年度末までに同計画の一部改定を実施したところです。

本市では、今後、「１航路２隻体制への移行」の円滑な実施を図るため、国スキームを活用した「共通予備船の建造・導入」に取り組み、令和 12 年 10 月にこれらの同時実現により持続可能な航路運営を目指す方針です。

こうしたことから、今般の船舶体制一部変更（共通予備船）に伴い、前回の答申内容における一部修正のほか、航路統合による利用促進や効率的な運用等に関する貴審議会のご意見を賜りたく、諮問するものであります。